

令和4年度 学校経営の重点化構想と評価

日光市立東中学校

<p>関係法規・方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇教育基本法 ◇学校教育法 ◇学習指導要領 ◇栃木県教育振興基本計画 ◇学校教育の充実に向けて ◇日光市学校教育基本計画 	<p align="center">—学校教育目標—</p> <p align="center">「うるわしく逞しい日本人」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生命を尊重し思いやりの心をもつ [温かい心情(徳)] ○自ら学ぶ意欲と豊かな創造力をもつ [鋭い知性(知)] ○たくましい体と強い意志をもつ [強い意志(体)] 	<p>本校の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学力の二極化の傾向が見られる。学校行事、生徒会活動への取り組みは活発である ○保護者は学校の方針や活動に協力的である。 ○文化遺産や国立公園など環境に恵まれている
---	--	--

<p>目指す生徒像</p> <p>若杉指標 “はきはき きびきび 生き生き”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物事に真摯に取り組むさわやかな言動のとれる生徒 ・地域や保護者をはじめ誰からも心から応援される生徒 	<p>目指す学校像</p> <p>○信頼される学校 ○安心感のある学校 ○特色ある学校 ○開かれた学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に生きる力を育み、保護者・地域から信頼される学校 ・教職員と生徒の信頼関係を基盤に、生徒同士が互いのよさを認め合う居心地のよい学校 ・地域の特性を生かし、生徒の実態に即しながら本校独自の教育活動を推進する学校 ・家庭、地域、小学校や関係機関等と連携を図り、社会の変化にもしなやかに対応する学校 	<p>目指す教職員像</p> <p>生徒の姿は教師の姿を写す鏡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく学び、考え、実行できる教師 ・相手の気持ちを考え、思いやりのある教師 ・時間やルール等の規律を守る教師 ・困難なことが起きても意欲と情熱をもって取り組める教師 ・職場の仲間と助け合い、協力し合える教師
---	---	---

<p align="center">—学校経営の方針—</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒一人一人を大切に、生徒のよさや可能性を引き出す学校経営に取り組む。 2 確かな学力の向上に取り組む。 3 自他の生命を尊重し、健康の保持促進・安全な学校生活を送れる生徒を育成する。 3 自己有用感を高める学年・学級経営、生徒会活動、部活動の運営を推進する 4 教職員一人一人が専門職としての使命感をもち、自己研鑽に励む。 5 地域とともに歩む学校づくりを推進し、信頼される学校づくりに取り組む。 6 PDCA サイクルを重視し、評価を生かした改善につなげる。
--

<p align="center">—学校の努力する課題—</p> <p align="center">深い学びを実感できる授業づくり</p> <p align="center">～すべての子どもが学びに向かうための指導の工夫～</p>
--

—今年度の努力点と具体策—		
温かい心情(徳)	鋭い知性(知)	強い意志(体)
<p>①心に響く道徳教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考え、議論する道徳授業 ・全教育活動を通した道徳教育の推進 <p>②安心感のある人間関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動や学校行事、生徒会行事などさまざまな場面での働きかけ ・優しさや思いやりに配慮した教室環境づくり ・いじめが起こりにくい学校・学級風土の醸成 <p>③規範意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員による一貫した方針に即した指導(方針は一致、方法はさまざま) ・学級、委員会、部活動などでの、望ましい集団づくり 	<p>①基礎・基本の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の基礎・基本の確認と、ドリル学習や帯学習の効果的な活用 ・朝学(読売ワークシート)の効果的な実践 ・家庭学習の習慣化を図る工夫 <p>②深い学びの実感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学び合い」を重視した授業展開の工夫 ・「ねらい」「めあて」「振り返り」の適切な設定 ・学びに向かう力の分析と適切な評価 <p>③授業力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元全体を見通した教材研究の充実と指導法の工夫・改善(一にも二にも教材研究) ・ICT機器の活用力の向上と指導事例の蓄積(一人一台端末への対応) 	<p>①健康の保持増進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健教育(保健体育、学級活動等)による健康の保持増進に関する指導の充実 ・生活習慣に関する家庭との連携強化 ・ボランティア団体の協力による朝食プロジェクトの推進(朝カフェ) <p>②体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態分析による体力づくり ・体育的行事の協働運営 <p>③危険予知能力、危機回避能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実的で効果的な避難訓練の実施(自分の命は自分で守る) ・自他の生命を尊重する態度の育成

<p align="center">学校経営上の努力点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企画力・実践力・調整力のあるミドルリーダーの育成 「ステップアップ」 ○報告・連絡・相談を基本とした組織対応力の向上 よいことはみんなで実行 「チーム東中」

- PDCAサイクルによる各教育活動ごとの修正・改善(早い段階での個別計画への反映、DCAP)
- 国や県の学力調査、Q-U、NRT 学力検査など各種調査における分析と検証(分析結果による課題の明確化)
- 自己評価、生徒・保護者アンケート、学校関係者評価による修正・改善(保護者への周知、教職員の意識改革)